

# 全学計算機システム リモートデスクトップを用いた 実験方法

筑波大学情報メディア創成学類 情報メディア実験  
「物理エンジンを用いたアプリケーション開発」  
説明資料

# 大学のリモートデスクトップの使い方1

1. 全学計算機システムのページにブラウザでアクセス

<https://www.u.tsukuba.ac.jp/>

2. 左バーから「ログイン・パスワード」→「リモートアクセス」をクリック

3. リモートアクセスのページに移動するので、

「全学計算機システムのWindowsデスクトップを利用する」から自身の環境にあったリンクをクリック(Windowsなら4, Macなら5)



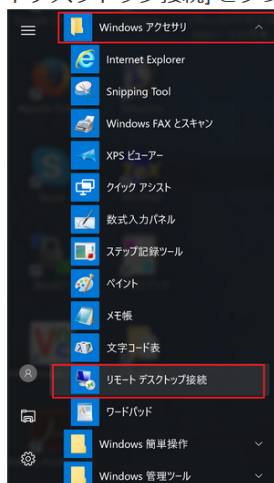
# 大学のリモートデスクトップの使い方2

4. それぞれの環境に合わせたリモートデスクトップへのアクセス方法が書かれているので、手順に従ってリモートアクセスする。

## 2-4. Windows の「リモートデスクトップ接続」で接続

### [接続]

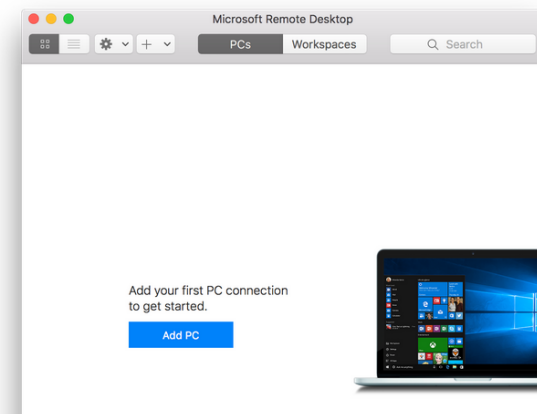
1. デスクトップ左下の「スタート」ボタン (Windows のロゴが描いてあるボタン) をクリックし、[Windows アクセサリ]-[リモートデスクトップ接続] をクリックします。



## 2-5. Mac OS 上の「Microsoft Remote Desktop」で接続

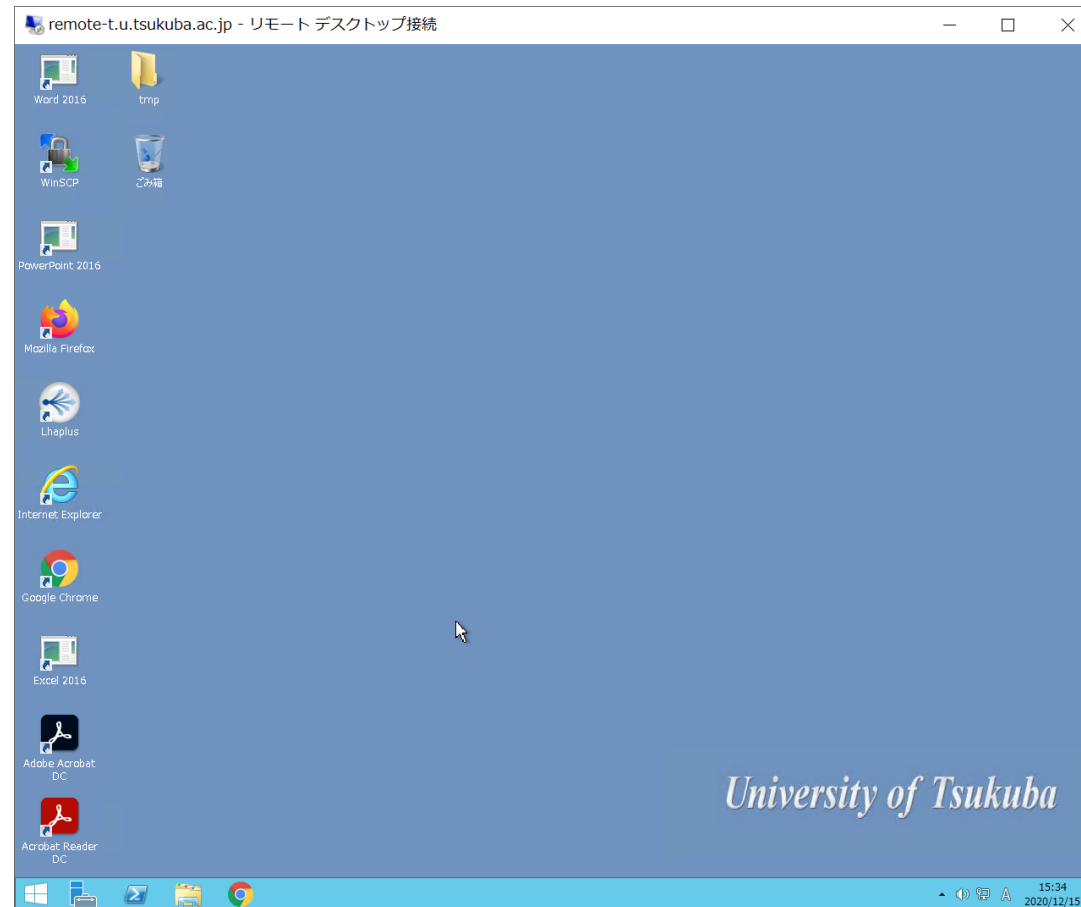
### [接続]

1. 最新のMicrosoft Remote Desktop を Mac App Store からダウンロード・インストールします。iTunes からのインストールのため、Apple ID が必要です。  
※以下の説明は、Microsoft Remote Desktop Version 10.3 を使用しています。
2. Microsoft Remote Desktop を起動すると、下図のようなウィンドウが表示されるので「Add PC」をクリックします。



# 大学のリモートデスクトップの使い方3

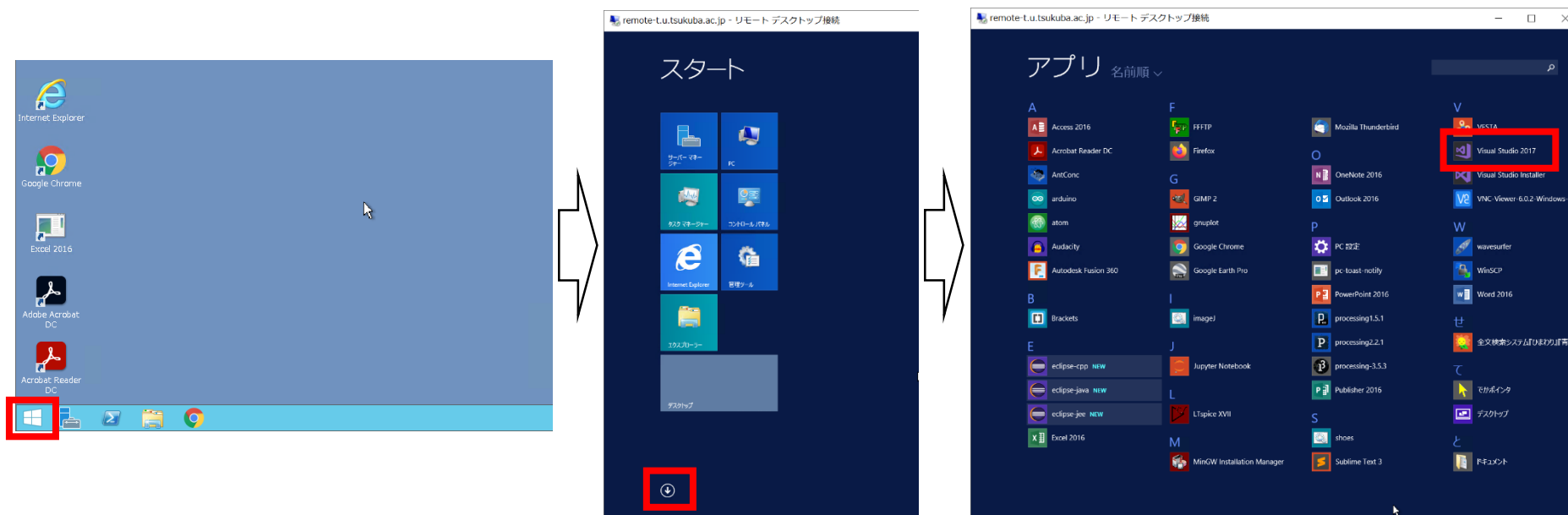
5. 印刷枚数などに関する注意事項が出たらOKをクリックし、下のような画面が出ればOK(デスクトップのアイコンは異なっていると思います).



# リモートデスクトップを用いた実験1

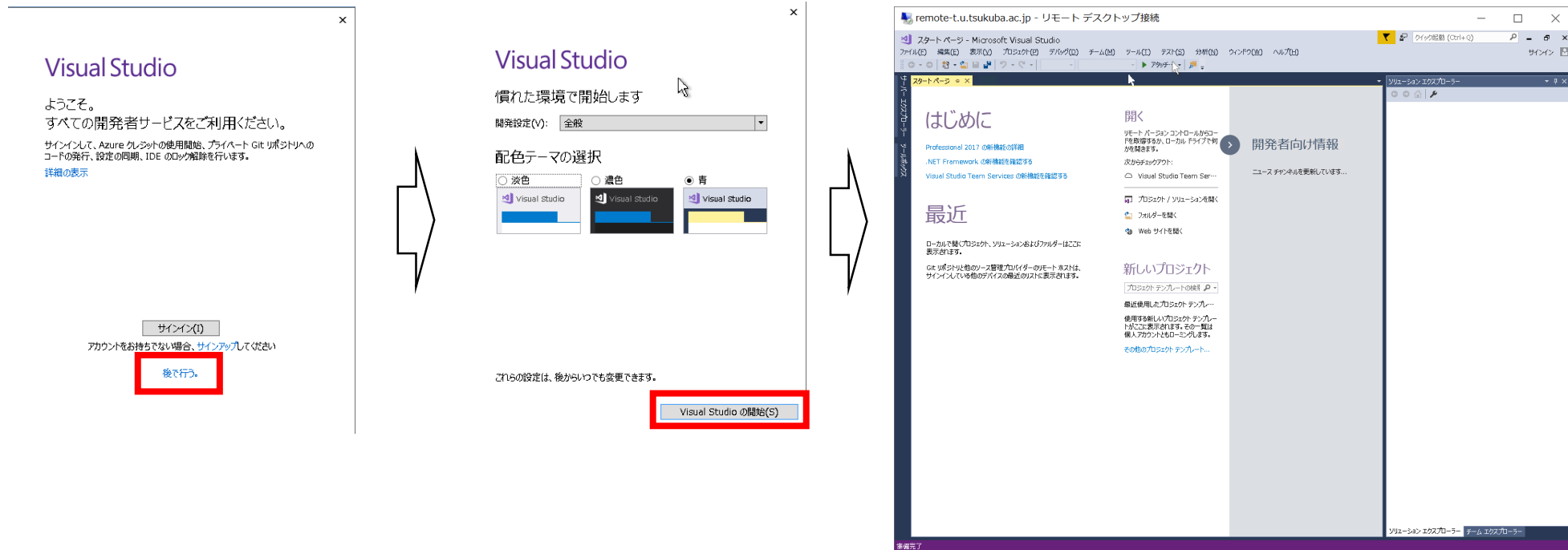
リモートデスクトップで全学計算機のWindows環境にアクセスできたら、その環境で**Visual Studio 2017(以下VS2017)**を使って実験を進めていきます。以下はVS2017での演習の進め方の説明です。

1. 左下のウィンドウアイコンをクリックしてスタートメニューを出す。
2. 左下に下矢印アイコン  をクリックしてアプリ一覧を出す。
3. アプリ一覧から「Visual Studio 2017」をクリックする。



# リモートデスクトップを用いた実験2

4. Visual Studioの初期設定画面が出たら「後で行う」→「Visual Studioの開始」をそれぞれ選択(アカウントがある人はサインインしてもOK. 実験を行う上ではなくてもOK)
5. 右下のようなVisual Studioのウィンドウが出たらOK.

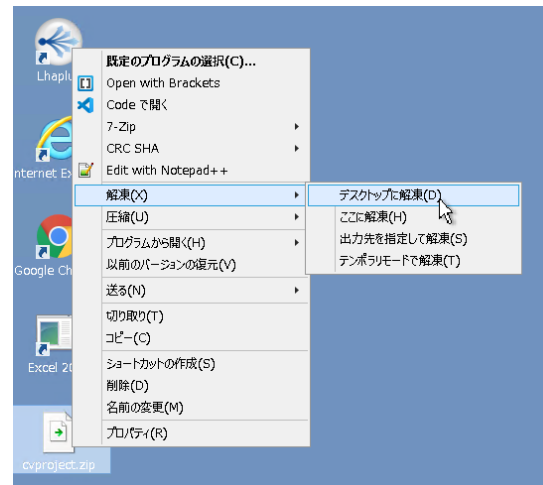


# リモートデスクトップを用いた実験 3

6. サンプルプロジェクトファイル(impl\_physics.zip)を以下のページの  
「1. 物理シミュレーションとは？」からリモートデスクトップにダウンロードする。  
サンプル配布ページ：<http://slis.tsukuba.ac.jp/~fujis/lecture/impl/#schedule>

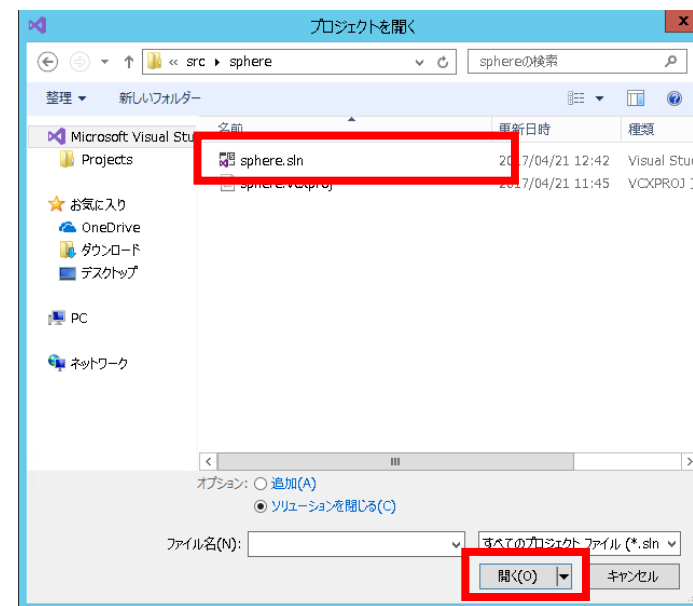
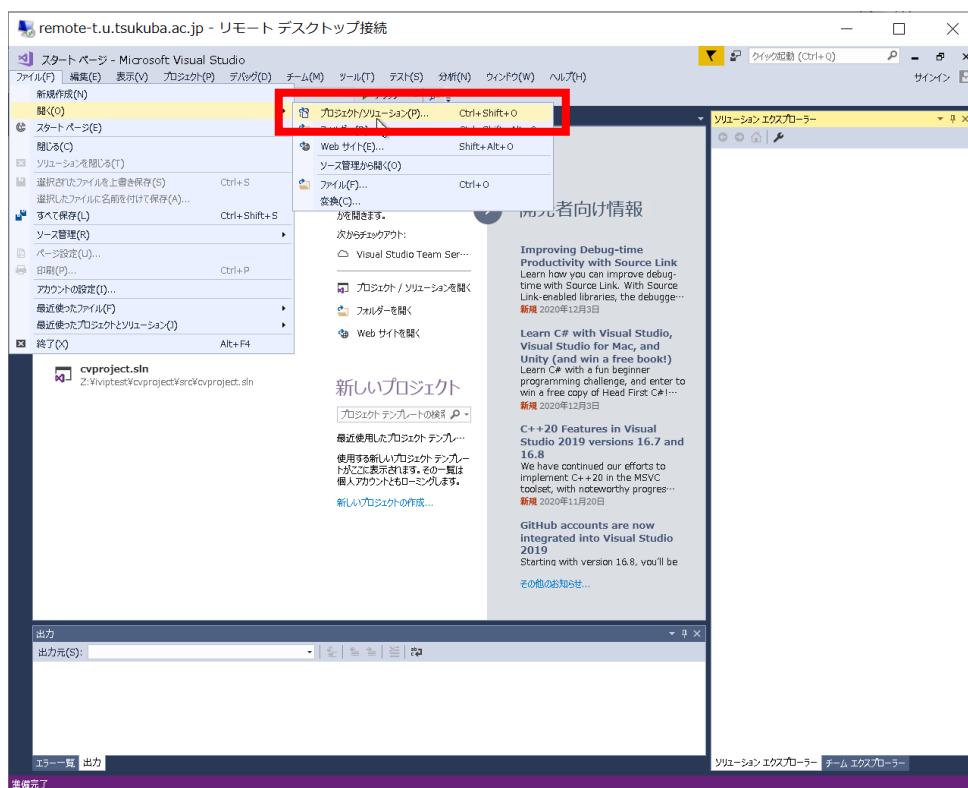
リモートデスクトップ内でmanabaにアクセスしてダウンロードするか、  
自身の環境でダウンロードしたものを転送する。  
それぞれの環境の転送方法は <https://www.u.tsukuba.ac.jp/remote/> 参照

7. ダウンロードしたファイルを右クリックして、「解凍」でファイルを解凍する  
(解凍場所は任意)



# リモートデスクトップを用いた実験4

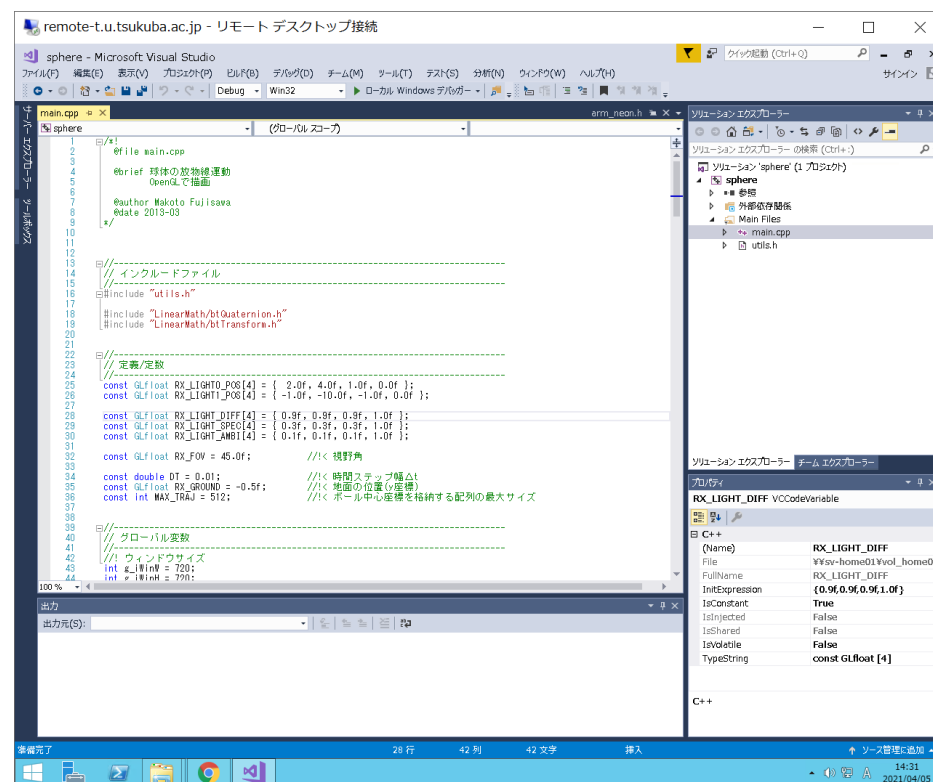
- Visual Studio 2017を開き, 「ファイル」→「開く」→「プロジェクト/ソリューション」をクリックする.
- 「プロジェクトを開く」ウィンドウが出るので, 手順7で解凍したフォルダ内の  
iml\_physics/src/sphere/sphere.slnファイルを選択して, 「開く」をクリックする.  
(セキュリティ警告が出たらそのままOKをクリック).





# リモートデスクトップを用いた実験5

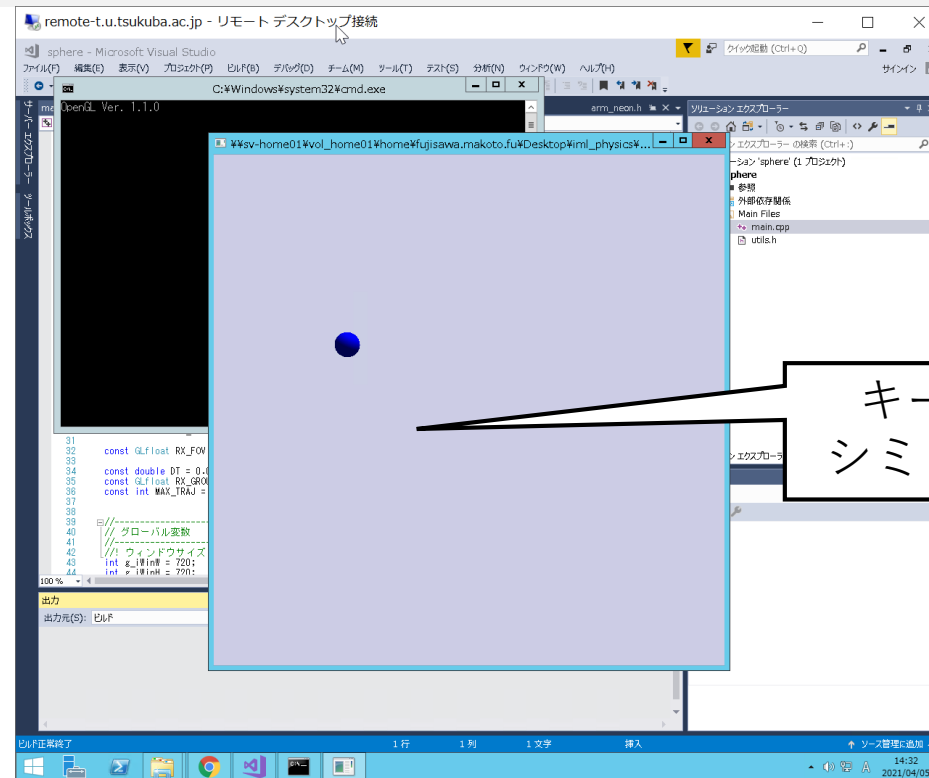
10. VS2017ウィンドウの右にある「ソリューションエクスプローラー」から、sphereプロジェクトをダブルクリックして開き、Main Filesの中の main.cppファイルを開く。
11. コードを確認したら、「ビルド」メニュー→「sphereのビルド」を選択、下の出力領域にビルドの様子が出るので、「すべてビルド: 1 正常終了…」と出ればOK。



# リモートデスクトップを用いた実験6

12. ビルドが正常に終了したら, 「デバッグ」メニュー→「デバッグなしで開始」をクリックする(「デバッガを使う場合は「デバッグの開始」でもOK).
13. 下図のように青いボールが描画されたウィンドウが表示されればOK.

実験ページ(<http://slis.tsukuba.ac.jp/~fujis/lecture/iml/>)にアクセスして, 実験を進めていこう!



キーボードの“s”キーで  
シミュレーションスタート